

- 1 教育事業名 「平成29年度教員免許状更新講習」
～自然体験活動から子供達の生きる力を～
- 2 ねらい 自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。
- 3 期 日 平成29年8月23日（水）～25日（金） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集人数 50名
- 6 参加人数 24名
- 7 参加者内訳 幼稚園2名・小学校3名・中学校6名・高校10名・特別支援学校3名
(男性14名 女性10名) (県内18名 県外6名)
- 8 講 師 鈴木 眞理 氏 (青山学院大学教育人間科学部教授)
講義「生涯学習社会における学校教育・社会教育」
平野 貴也 氏 (名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授)
講義「体験活動の意義と学習指導要領」
実習「体験活動の指導法② ～マリン活動～」
北見 靖直 氏 (国立青少年教育振興機構 教育事業部指導主幹)
実習「体験活動の指導法① ～レクリエーションの基本と実技」
講義「体験活動の指導法③ ～体験活動の安全確保と安全指導～」
実技「体験活動の指導法④ ～野外炊飯～」
講義・実習「体験学習の指導法⑤ ～体験活動とフィードバック～」

9 実施プログラム

	9:00	10:00	11:40	12:00	13:00	15:10	17:10	19:00	21:00	22:30		
8月23日(水)	一日目	那覇市泊港とまりん集合	フェリーとかしき	開講式	昼食	講義「生涯学習社会の学校教育・社会教育」	講義「体験活動の意義と学習指導要領」	夕食等	実習「体験活動の指導法①」～レクリエーションの基本と実技～	入浴 就寝準備	就寝	
		8:30 9:00 9:30		12:30 13:30		15:30		19:30		22:30		
8月24日(木)	二日目	朝食	清掃	移動	実習「体験活動の指導法②」～マリン活動～	昼食	講義「体験活動の指導法③」～体験活動の安全確保と安全指導～	実習「体験活動の指導法④」～野外炊飯～	清掃	テント設営 入浴 就寝準備	就寝	
		8:30 9:00 9:30		11:30 12:10 13:10		14:30 15:00 16:00		17:10				
8月25日(金)	三日目	朝食	清掃	移動	講義・実習「体験活動の指導法⑤」～体験活動とフィードバック～	グループ発表会	昼食	履修認定試験	閉講式	移動	フェリーとかしき	那覇市泊港解散

10 事業の様子



11 エピソード（参加者の声や観察より）

- ・ 講師の熱意に心を打たれた。
- ・ 体験を通して人との接し方や話し方なども学べた。
- ・ 生涯学習について整理することができた。
- ・ 体験活動の意義を知る良い機会になった。
- ・ 美しい海でのマリ活動、テント宿泊や星空観察等、貴重な経験をする事ができた。
- ・ 10年後の免許状更新時もまた来たい。
- ・ 勉強になった。学校種間や他県の先生方との親睦も深まり充実した講習だった。
- ・ 何のために、どういう思いで教員になったかを思い出せた。ここで学んだことを持ち帰って今後の指導に活かしたい。
- ・ 講義の内容がとても分かりやすく満足している。
- ・ 社会教育に対する理解を深めることができた。
- ・ 楽しく学びの多い講習だった。
- ・ 「つながり」、「仲間」、「信頼」が大切だということを改めて感じた。
- ・ 指導のポイントを学ぶことができた。学校現場で活かしたい。
- ・ 体験することの大切さ、すばらしさを学べた。

	事業全体	プログラム	運営面	職員の指導助言
満足	24	23	17	23
やや満足	0	1	7	1
やや不満	0	0	0	0
不満	0	0	0	0

- ・ 体験を「楽しい」だけで終わらせず、そこから考えさせ、気づかせ、行動できるような子ども達を育てたい。
- ・ 安全、協力、環境保全など体験活動を意図的に行うことの大切さを学んだ。
- ・ 「自己有用感」を引き出すための、教師のスキルの大切さを学んだ。
- ・ リスクマネジメントのあり方やフィードバックにおける自己肯定感の重要性など、実体験を通しての講習は、大変勉強になった。
- ・ 実践的で、現実的ですごく勉強になった。危機意識も高まり、また、指導力の向上にも繋がった。
- ・ 渡嘉敷島の自然を生かした、とてもよい内容の講習だった。
- ・ 様々な体験活動をとおして、多面的な考え方で生徒に指導していくことが大切であると実感した。

1 2 担当者所見

【成果】

本事業では、渡嘉敷島の自然を生かした様々な体験活動の指導法やそれに伴うリスクマネジメント、生涯学習振興についての講義など、受講生が学校現場ですぐに実践、活用できる内容を主体に、プログラム構成にも配慮しながら各講習を実施した。また、各講師の実践的できめ細やかな指導は、本事業のねらいを達成する上で大変重要な要素であった。受講生の感想にも、「楽しく学びの多い講習だった。」「指導のポイントを学ぶことができた。学校現場で活かしたい。」などの肯定的な意見が多く、講習全体に対する評価は高かった。

3日間の全講習を通して、安全管理に対する意識の向上及び野外炊事指導、レクリエーション指導、海洋研修指導をとおして、体験活動の意義を再認識するとともに指導法の工夫改善等、本事業のねらいを十分に達成することが出来たと感じる。

【課題】

台風の影響により、日程の変更を視野に入れた慌ただしい準備だった。今回はフェリーについては予定通りの運航であったのでプログラム進行に影響はなかったが、フェリー休航時の他施設での実施については検討を重ねる必要があった。

開催時期については8月の下旬だと夏季休業が終了している学校があり、そのことが今回の参加者数減少の要因だと考えられる。次年度は8月上旬か中旬実施の方向で調整したい。

